

鳥取JC地域の誇りづくりプロジェクト

【8・22】山陰海岸ジオパーククリーン大作戦

【8・23】山陰海岸ジオパークツアー

鳥取JC地域の誇りづくりプロジェクト

山陰海岸ジオパーククリーン大作戦

山陰海岸ジオパークツアーを終えて

社会企画推進委員会
委員長 田中 雅幸

鳥取JC地域の誇りづくりプロジェクトとして8月22日に山陰海岸ジオパーククリーン大作戦、翌日の23日に山陰海岸ジオパークツアーを無事終えました。クリーン大作戦では3000を超える参加者を集まっていたいただきました。参加者には環境保護の大切さと



クリーン大作戦

山陰海岸の素晴らしさが十分に伝わったのではないかと思います。ジオパークツアーでは、開会式の時、少し雨が降りましたが、気候的には大変良かったように思えます。かなり起伏に富んだ地形ですので、参加者はかなりつらかったと思います。ただこんな地形だからこそ見られる景観ですし、また来たいという声も聞かせていただきました。山陰海岸ジオパークの魅力とジオパークへの理解がしっかりと伝わったのではないかと思います。

2日間、対象者の違う事業となりましたが、それぞれの参加者が今、世界登録を目指している山陰海岸ジオパークを因幡地域の誇りとして認識していただけたのではないのでしょうか。

ご協力いただきました外部協力者の方々に感謝をさせて頂くと共に、ご協力頂きましたメンバーの皆様ありがとうございました。

ジオパーク事業を終えて

社会企画推進委員会
委員 原田 宣明

直前まで動員が不足気味で迎えた本番でしたが、委員会が一丸となって最後の最後で動員を集める事ができました。何かと不周到な部分が多く、事業前は心配事が尽きませんでした。前

日になって斉藤環境大臣の来訪が突如決まるなど、最後の最後で物事が固まり、事業当日は天候にも恵まれ、JCメンバーの皆さんのご協力で大成功を収める事ができました。ありがとうございました。

ジオパーク事業を終えて

社会企画推進委員会
委員 門脇 正樹

8月22日23日、ジオパーク・クリーン大作戦、ツアーと2日間事業を開催しました。

両日とも天候に恵まれ大変大勢の方に参加頂きました。1日目のクリーン大作戦では網代から城原海岸まで、きれいな山陰海岸をより美しく保つために各班に分かれ清掃をしていたきました。そして2日目のツアーではアップダウンの激しい遊歩道でしたが美しい景色を見ながらウォーキング、シーカヤック、そして海岸を海側から見る遊覧船、あらためて私たちの身近にある山陰海岸の魅力を感じて頂けたと思っております。

ジオパーク事業に参加して

因幡のグリーン政策委員会
委員 池内 哲也

私は長い間、鳥取で生活してきました。そして今年で31歳になり、自分の中で鳥取を知らない所はないと思っていました。そうではありません。



散策コース

今回このジオパークに参加させてもらい、改めて鳥取の良さを感じる事ができました。

まず岩美町の海岸沿いに遊歩道があったこと。その遊歩道からしか見ることのできない景色。まさに絵にかいたようなその景色に感動しました。険しい道のりでしたが、楽しく進むことができました。

私の子供がもう少し大きくなったらぜひ連れて行こうと思います。色々ありがとうございます。

ジオパークに参加して

小学5年生 男子

アップダウンがはげしく、思ったより歩くのがつらかった。景色がきれいで、海で遊んだのが楽しかった。船からの景色もがけとか島が見えてきれいだったし、乗って楽しかった。また今度あったら参加したいです。

鳥取砂丘発 ウォークラリー 乾燥地研究センター

鳥取砂丘発 目指せ！砂漠博士

ウォークラリー

乾燥地研究センター

を終えて

新生鳥取砂丘政策委員会
委員長 田淵 裕章

去る8月29日。私達新生鳥取砂丘政策委員会が満を持してお送りする！鳥取砂丘発 目指せ！砂漠博士「ウォークラリー in 乾燥地研究センター」を開催しました。



ウォークラリー

いることへの発信」。今後10年間の政策を描いた上で今年私達は何をすべきなのか？つい最近の7月くらいまで「あーでもないこーでもない」と議論を繰り返して、積み重ね、結果委員会の総意で想いをもって企画した事業でした。

昨年今ごろから乾燥地研究センターさんと分らないなりにいろいろやり取りをさせていただきました。そんな私達メンバーの企画に賛同いただき多大な協力を得て当日を迎える事ができました。当日は90名の参加者を迎えセンター内のいろいろな施設を周遊しながら乾燥地研究を深く認識していただくことができたと感じています。子供たちの楽しそうな笑顔が今でも目について離れません。今後とも乾燥地研究センターの皆様と手を取り合っって新生鳥取砂丘政策を推進して行きたいと思えます。

しかしながら私達の委員会は年末の鳥取砂丘イリュージョンに向けてラストパートです。イリュージョンでも乾燥地研究センターの発信に重きを置き、特に県外の来場者へ発信していきます。

新生鳥取砂丘政策委員会
委員 橋本 来

鳥取大学乾燥地研究センターにて、当委員会の事業が開催されました。当日は朝から雲行きが怪しく、中止にな

らないように天に祈りながらの受付：実はこの日一番緊張した時間でした。この事業を行うことで、乾地研という研究施設が存在と役割、また、鳥取砂丘の世界環境への役割を発信できたのではないかと思います。

また、ウォークラリーを通して、楽しそうに、時には興味深気に施設や砂丘を歩く子どもたちの様子に、この事業の意義を再認識させていただきました。参加者に喜び、楽しんでいただけたイベントが開催できたことを大変嬉しく思うとともに、当委員会の実行力と魅力を認識できたことは、私にとっても大きな収穫であります。

新生鳥取砂丘政策委員会
委員 平田 俊輔

去る8月29日(土)我々委員会の事業「目指せ！砂漠博士」ウォークラリー in 乾燥地研究センター」が行われました。当日はたくさんの方々の参加がありました。当日はたくさんの方々のご協力もあり、スムーズに事業が遂行出来ました。事前よりお礼申し上げます。乾燥地研究センターについてまずほとんどの方々が認識出来ていない中で、委員会のメンバーは不安との戦いでしたが事業終了後の参加者からのアンケートを集計したところ「多少興味を抱いた」という意見

が非常に多かったのです。その答えによってこの事業が成功したんだと確信しました。多少と感じていただいた方々をいかにこれから興味深々になっていただくか、これこそがこの委員会の醍醐味のような気がします。

この世界的にすばらしい施設をもっと市民の方々に伝えられるよう1歩1歩、遠回りが一番の近道だと思ひ発信していきたいと思ひます。

キャンパやろうぜー！ G O G O G O に向けて

青少年育成委員会
委員 谷口 道明

本年度、青少年育成委員会では、高校生と小学生という世代の違う子供たちとしっかりと人と人との繋がりを体感し思いやりの心を育んでほしい、又異年齢交流事業の素晴らしさをたくさんの人に知って頂きたいという思いから自然の中で泊3日でキャンプをする手法を用いて異年齢交流事業を行う背景に至りました。

現在、この因幡地域で暮らす小学生・高校生・ボランティアの人たちから多数の参加の応募を頂いており、事業に向けても星山委員長のもと、委員会メンバーが一丸となって事業を成功させるために日々アクセル全開で頑張っております。

いよいよ今週末には委員会だけでなく議論をつみ重ねた事業が形になります。「人と人の交流の環が広がる地域社会」の実現に向けて発信...